

第19回 近畿地域 エネルギー・温暖化対策 推進会議

日時：2023年12月19日（火）

13時～16時40分（12時30分受付開始）

場所：大阪大学中之島センター10F

佐治敬三メモリアルホール（ホール3・4）

開催方法：会場開催のみ

主催：経済産業省近畿経済産業局／環境省近畿地方環境事務所



Program

I. 開会

II. 最近のエネルギー・温暖化対策の動向について

ー資源エネルギー庁／環境省によるトークセッションー

資源エネルギー庁 長官官房総務課戦略企画室 調査員 大久保 拓哉
環境省 近畿地方環境事務所 地域循環共生圏・脱炭素推進グループ
脱炭素化支援専門官 濱 和宏

III. 構成機関からの情報提供

1. 2050年ゼロカーボンに向けた関西電力の取組み

関西電力（株）エネルギー・環境企画室 環境マネジメントグループ
チーフマネジャー 藤本 啓史 氏

2. Daigasグループのカーボンニュートラルに向けた取組

大阪ガス（株）経営企画本部 企画部
カーボンニュートラル推進室長 榎原 洋介 氏

3. 大阪の気候変動と将来予測及びその影響

大阪管区気象台 地域防災推進課 地球温暖化情報官 田中 秀和 氏
質疑応答

～休憩<10分>～

VI. フューチャー・デザイン・ワークショップ

V. 閉会



Introduction

“地球沸騰時代”とも言われるようになった地球温暖化。
この人類が直面しているテーマに対して
2023年12月19日、大阪にて
近畿地域の官民双方の環境・エネルギー関係者が一堂に集まります。

今回の会議では、2050年のカーボンニュートラル達成を実現するため
我々がとるべき方策は何かを議論します。

この会議は先人たちから受け継いできた
豊かな環境を未来へ残すため
関係者間で交流し、課題認識や情報を共有し
新たな連携や取り組みが生まれるための舞台です。

事務局では今回から新たに、参加者の皆様が
気兼ねなく交流できる“仕組み”を取り入れていますので、
ご参加をお待ちしております。



今回のエネルギー・温暖化対策推進会議のねらい

1

参加したいと思って
もらえる場にすること

【例】

- 関わりたいと思う話、会いたいと思う人がいる
- 普段体験できないことがある



2

話しやすい場を
つくること

【例】

- 服装自由
- いかにも会議というしつらえにしない
- フラットな場、雰囲気



3

参加してよかったと
思える場にすること

【例】

- 以後の仕事のヒント、仕事作りにつながる
- よい人との接点ができる

etc.



エネルギー・温暖化対策推進会議とは

1 目的及び設置

地域におけるエネルギー・温暖化対策に関する**情報交換・共有**や、エネルギー需給構造に関する**実態把握等を図り**、地方公共団体をはじめ地域の地球温暖化対策に関する**自主的な取組を促進**するため、近畿地域エネルギー・温暖化対策推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

2 活動内容

推進会議においては、以下の活動を行う。

- (1) 関係者間の**情報交換・共有・課題の洗い出し**
- (2) 客観的な**実態把握（基礎となるデータの提供）**
- (3) 地域の地球温暖化対策に係る**計画・プロジェクト等の策定・実現化支援**

